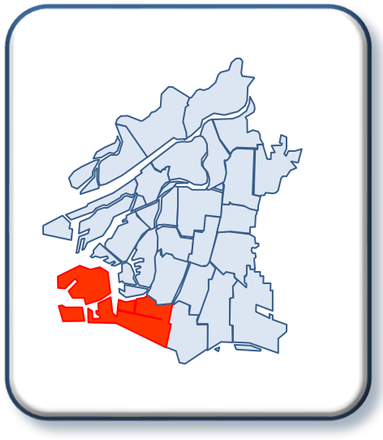
# 住之江区　平成26年度～令和６年度 浸水箇所

（説明案内）
- 大阪市は、市街地の9割までが平坦な低地で自然排水が困難な浸水しやすい地形となっています。住之江区でも平成26年度～令和６年度の間に、図にあらわす地域で浸水が発生しています。
- 大阪市では、浸水の原因を調査し順次、対策工事を進めるなど、浸水に対するリスクの低減を図っていますが、浸水対策が完了した地域でも、これまで浸水がなかった地域についても想定を超える豪雨など、雨の降り方や地盤の高低によっては浸水が発生するおそれがありますので、大雨には十分な注意をお願いします。
- 大阪市では、浸水が予測される区域や避難時の心得などを示した「（水害）防災マップ」を作成しています。
- 浸水による被害を軽減するためには、お住まいの場所等がどの程度浸水するおそれがあるのかを把握し、いざという時に取るべき行動をあらかじめ考えておくなど、日ごろからの備えが重要です。「防災マップ」を役立てていただき、もしもの時の役割や連絡方法などを今一度よく話し合っておきましょう。

**「水害ハザードマップ（住之江区）」ページへのリンク**
**「“津波・水害から命を守るために”水害ハザードマップ」ページへのリンク**



【浸水概要】
◌ はおおよその浸水箇所をあらわしています。
（〝側溝〟や〝ます〟が落ち葉やごみ等でふさがって浸水する場合もあります。家のまわりを点検しましょう。）
※ 側溝 ・・・ 排水のために道路の端に作られている溝
※ ます ・・・ 道路や住宅の雨水が集まる施設